

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
8	常滑市 申告受付に関する事務 基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

常滑市は、申告受付に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項	
------	--

評価実施機関名

常滑市長

公表日

令和8年10月15日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	申告受付に関する事務
②事務の概要	確定申告の受け付けに伴い、確定申告書や住民税申告書等の当初賦課資料の作成・登録・管理を行う。
③システムの名称	申告受付システム
2. 特定個人情報ファイル名	
当初資料ファイル	
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表24の項 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律別表の主務省令で定める事務を定める命令第16条
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	[実施しない] <選択肢> 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定
②法令上の根拠	
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	総務部税務課
②所属長の役職名	税務課長
6. 他の評価実施機関	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	総務部総務課(所在地)〒479-8610 愛知県常滑市飛香台3丁目3番地の5 (電話番号)0569-47-6101(直通)(ファックス番号)0569-35-4329(代表)
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	総務部税務課(所在地)〒479-8610 愛知県常滑市飛香台3丁目3番地の5 (電話番号・ファックス番号)0569-47-6104(直通)・0569-35-6944(直通)
9. 規則第9条第2項の適用 []適用した	
適用した理由	

Ⅱ しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人か	[1万人以上10万人未満]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和8年9月1日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人未満]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和8年9月1日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生なし]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

Ⅲ しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

Ⅳ リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[基礎項目評価書]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書 2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要なのない情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 [] 委託しない		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。)[] 提供・移転しない		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 [○] 接続しない(入手) [○] 接続しない(提供)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

7. 特定個人情報の保管・消去

特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[十分である]	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
-----------------------------	-----------	---

8. 人手を介在させる作業

[] 人手を介在させる作業はない

人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か	＜選択肢＞ 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインに従い、マイナンバー登録や副本登録の際には、本人からのマイナンバー取得の徹底や、住基ネット照会を行う際には4情報又は住所を含む3情報による照会を行うことを厳守している。

9. 監査		
実施の有無	[] 自己点検 [○] 内部監査 [] 外部監査	
10. 従業者に対する教育・啓発		
従業者に対する教育・啓発	[十分に行っている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない
11. 最も優先度が高いと考えられる対策 []全項目評価又は重点項目評価を実施する		
最も優先度が高いと考えられる対策	[3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策] <選択肢> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業者に対する教育・啓発	
当該対策は十分か【再掲】	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	マイナンバー利用事務における生体認証の導入及び業務の権限を細分化して管理することで、利用者を特定するとともに、目的外使用にならないようシステム上で制御している。	

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年10月15日	I 3法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表第一 第16項	番号法第9条第1項 別表第一の16 行政手続における特定の個人を識別するため	事後	
平成28年10月15日	I 5②所属長	税務課長 水野 真弓	税務課長 中野 旬三	事後	
平成30年5月11日	公表日	2016/10/15	2018/5/11		
平成30年5月11日	I 5②所属長	税務課長 中野 旬三	税務課長 小嶋 正義	事後	
令和1年5月17日	I 5②所属長	税務課長 小嶋 正義	税務課長		
令和1年5月17日	Ⅳリスク対策		様式変更による追記		
令和4年10月1日	I 7請求先	総務部総務課 住所:常滑市新開町四丁目1番地	総務部総務課 (所在地)	事後	
令和4年10月1日	I 8連絡先	総務部税務課 住所:常滑市新開町四丁目1番地	総務部税務課 (所在地)	事後	
令和6年11月13日	I 3法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表第一の16 行政手続における特定の個人を識別するための 番号の利用等に関する法律別表第一の主務 省令で定める事務を定める命令第16条	番号法第9条第1項 別表24の項 行政手続における特定の個人を識別するための 番号の利用等に関する法律別表の主務省令 で定める事務を定める命令第16条	事後	
令和6年11月13日	Ⅱ 1. いつ時点の計数か	平成26年11月26日時点	令和6年11月1日時点		
令和6年11月13日	Ⅱ 2. いつ時点の計数か	令和26年11月26日時点	令和6年11月1日時点		
令和6年11月13日	Ⅳ6. 情報提供ネットワークシステムとの接続	[]接続しない(入手) []接続しない(提供)	[○]接続しない(入手) [○]接続しない(提供)	事後	
令和6年11月13日	Ⅳ8.人手を介在させる作業		十分である マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインに従い、マイナンバー登録や副本登録の際には、本人からのマイナンバー取得の徹底や、住基ネット照会を行う際には4情報又は住所を含む3情報による照会を行うことを厳守している。		新設
令和6年11月13日	Ⅳ11.最も優先度が高いと考えられる対策		[3] 十分である マイナンバー利用事務における生体認証の導入及び業務の権限を細分化して管理することで、利用者を特定するとともに、目的外使用にならないようシステム上で制御している。		新設
令和7年11月6日	Ⅱ 1. いつ時点の計数か	令和6年11月1日時点	令和7年11月1日時点		
令和7年11月6日	Ⅱ 2. いつ時点の計数か	令和6年11月1日時点	令和7年11月1日時点		
令和8年9月1日	Ⅱ 1. いつ時点の計数か	令和7年11月1日時点	令和8年9月1日時点		
令和8年9月1日	Ⅱ 2. いつ時点の計数か	令和7年11月1日時点	令和8年9月1日時点		